

アントレプレナーシップ 教育プログラムがスタートしました!

2021年10月にスタートしたアントレプレナーシップ教育プログラム。
初年度のプログラム内容を紹介します! ※本チラシに記載の内容は、2022年3月時点のものです。



入門プログラム授業(1年次)

■ アントレプレナーシップ入門 I

“営利組織/非営利組織”、“国内/海外”、“起業/社内起業”と、多様な立場の講師から話を聞き、アントレプレナーに必要なスキル・資質について学びました。

- [講師] 菅原 広豊氏 (Hitachifrogs 代表) 〈写真1〉
横田 能洋氏 (認定NPO法人茨城NPOセンター・commons 代表理事) 〈写真2〉
倉田 浩伸氏 (株式会社クラタペッパー 代表取締役社長) 〈写真3〉
鈴木 伸之氏 (マイクロソフト株式会社アメリカ本社 シニア・エンジニア) 〈写真4〉



■ アントレプレナーシップ入門 II

“医療”、“女性”、“まちづくり”、“IT”をテーマに、イノベーションについて学びました。

- [講師] 伊藤 俊一郎氏 (株式会社リーパー 代表取締役) 〈写真5〉
光畑 由佳氏 (有限会社モーハウス 代表取締役/NPO法人子連れスタイル推進協会 代表理事) 〈写真6〉
栗飯原 理咲氏 (アイランド株式会社 代表取締役社長) 〈写真7〉
堀下 恭平氏 (株式会社しびっくばわー 代表取締役社長) 〈写真8〉



■ アントレプレナーシップ入門 III

ワクワクすることや社会課題解決のためのプロジェクトを、グループワークを通して企画立案し、企画書にまとめました。

- [講師] 梅林 泰彦氏 (やさいバス株式会社 営業統括部長) 〈写真9〉



授業のひとこま

入門プログラムの授業では、国内外でアントレプレナー、イントレプレナーとして活躍している多様な方々に講義をしていただきました。

つくば市を拠点に授乳服メーカー「モーハウス」を起業し、NPO法人子連れスタイル推進協会の代表理事も務める光畑由佳さんも講師のひとり。12月の授業に登壇し、起



業の経緯や「子連れ出勤」の普及を進めてきた思いなどを熱く語りました。

光畑さんは、「授業終了後も質問の列ができて、『ほんとに1年生なの!?!』とびっくりするようなレベルの高い質問もたくさんありました。『事業はもちろん、出産や子育てに関してさえ“おもしろそうだからやってみよう”という姿勢があることがお話の端々から感じられ、それがアントレプレナーシップなんだなと思いました』という感想があって、それこそまさに感じてほしかった内容なのでとても嬉しかったです」と授業の様子を振り返りました。

次のステップは…



基礎プログラム(1年次~2年次)

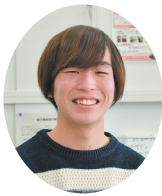


実践プログラム(3年次~4年次)

ご期待
ください!

プログラム受講生の声

人文社会科学部1年 丹野みさとさん



「自分が今1年生だったら受けてみたかったな」という先輩からの紹介でこのプログラムを知りました。もともとカウンセリングの仕事に興味があったことと、他の人たちに負けないような面白いことをやってみたいという思いがあったのですが、プログラムでいろいろな方の話を聞くうちに、今の時点ではあえて焦点を絞った活動を展開し、そこから広げていくというような戦略的な思考ができてきました。印象に残っているのは、医療相談アプリを開発提供している株式会社リーバーの代表・伊藤俊一郎さんのお話です。それまで、カウンセリングをビジネスにするのは難しいかなと考えていたのですが、収益の流れやデジタル技術を工夫することで、さまざまなアプローチが可能だということに気づきました。在学中に法人の設立だけでも、まずは挑戦してみたいですね。

教育学部1年 香取祐実さん



高校のときにSDGsについて勉強してジェンダーの問題に興味をもち、教育の面から解決したいと思っていたのですが、プログラムで起業家の方たちのお話を聞いて、他にもいろんな方法があることがわかりました。授業ではモーハウスの光畑さんのお話が印象に残っていて、「自分だけが我慢していればなんとかなる」という問題も実はちょっとした工夫で楽しい方向に変わる、そういう工夫を考えることが大事だと学べたのは、大きかったです。その後は、起業家の方たちとコネクションを作るようなイベントとか講演会にも参加してみました。起業というひとりで始めてそこから少しずつ仲間を増やしていくイメージが強かったのですが、実際には数人で集まって起業したり、それぞれがやりたいことや困難から学んだことを形にしたり…。引き続き受講を続けて、他の学部の人たちとももっと交流を深めたいです。

担当教員からのメッセージ



社会連携センター 講師
武田 直樹

“第一期生”が何人集まるか不安でしたが、プログラムの必修科目である「アントレプレナーシップ入門Ⅰ」には全5学部から計152人もの学生たちが履修してくれました。多

彩なゲストが講師を務める授業の各回のレポートでは、多くの学生が指定した文字数の目安を大幅に超えて振り返りを書いてくれていて、学生たちの中で熱い思いが文字どおり溢れかえっていると感じます。

「アントレプレナーシップ入門Ⅲ」では学部を横断したグループワークで実際にプラン作りと、それを文字化する企画書作成に挑戦しました。今年度はコロナ禍で対面での交流が限られてしまったのが残念ですが、様々な利害関係者の思いを繋ぐ企画書作りに試行錯誤しながらも、その中で想いを共有しあえるコミュニティが生まれてきました。受講生からは、1年次に履修した授業の中で一番面白かった、茨城大学に入学して良かった、入門Ⅰ～Ⅲをセットで取るとより学びが

深まる、2年次にはビジネスプランコンテストに挑戦したい、などの声が寄せられ、満足度の高い授業を創り上げることができたかと思います。また、来年度の1年生は、今年度の“第一期生”から充実した熱い経験談も聞けると思います。

ゲスト講師のみなさんには、授業だけに留まらず、学生から相談があった際には継続的に協力いただけるとおっしゃっていただいています。そうした学内外での起業家と学生、学生同士のつながりを通じて、失敗を恐れない新しい挑戦的な取り組みがたくさん生まれてくるように私も徹底的にサポートしていきますよ！是非、プログラムを受講していただき、自身の、さらには社会の新たな可能性を一緒に見出しいきましょう！



アントレプレナーシップルーム

自己研鑽や仲間と切磋琢磨できる場所として、アントレプレナーシップルームを開設しました！日々、学生が集まり、ディスカッションやグループ作業などを行っています。

場所：茨城大学水戸キャンパス 社会連携センター2階
開室時間：平日9時～17時

お問い合わせ先



茨城大学 社会連携センター

〒310-8512 茨城県水戸市文京2丁目1番1号

TEL 029-228-8413 FAX 029-228-8495

Mail entre-jimu@ml.ibaraki.ac.jp

URL <https://www.scc.ibaraki.ac.jp/entrepreneurship/>

